



令和8年10月28日
四国地方整備局
土佐国道事務所

見て、触れて、体感！ 建設DX最前線

インフラDX省人化モデル工事 現場見学会を開催

デジタルトランスフォーメーション

このたび、「インフラDX省人化モデル工事」において、現場見学会（最新技術の体験見学会）を開催します。

この見学会は、地域の建設業の皆様が「使用してみたい」と思う最新の4技術について現場で実演し体験して頂く予定としており、建設会社23社、約60名の技術者と高規格道路沿線の自治体等3機関、約10名が参加されます。

※詳細は、別添をご参照ください。

記

1. 開催日時：令和8年11月5日（木）

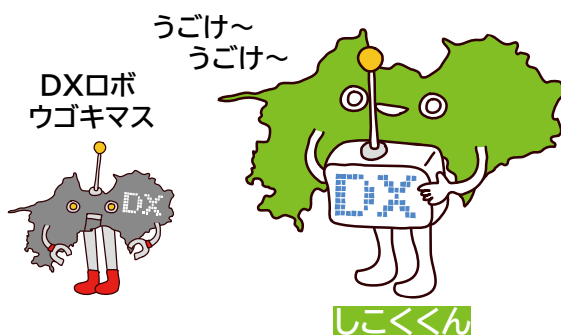
※小雨決行、荒天延期

9：30－11：30

2. 開催場所：高知県安芸市穴内乙

なんこくあき あなない
南国安芸道路 穴内第1・第2跨道橋下部工事建設現場

3. 対象者：高知県内の建設会社、高規格道路沿線の自治体等



※本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト「No.6.1 未来の四国を担う産業成長プロジェクト」及び「No.6.3 四国の産業の次世代を担う人材育成プロジェクト」の取組に該当します。

（発表先）高知県政記者クラブ

【問合せ先】（◎は主な問合せ先）

四国地方整備局 土佐国道事務所

副所長（改築）

◎工務課長

服部

藤本

達典（はっとり たつのり）

大輔（ふじもと だいすけ）

（内線 204）

（内線 411）

TEL：088-884-0359（事務所代表）

088-885-4824（工務課直通）

インフラDX省人化モデル工事 現場見学会のご案内

高知県安芸市で実施中の「インフラDX省人化モデル工事」において、**最新の建設DX関連技術を実際に見て、体験できる現場見学会**を開催します。

建設現場の省人化や生産性向上につながる先進技術を現場でわかりやすく実演します。
建設DX関連技術の導入や活用を検討されている方にとって、実際の運用事例を見学できる貴重な機会です。ぜひこの機会にご参加ください。

【現場で実演する最新技術】

- ① 3次元施工ステップムービー
- ② ARを活用したコンクリート締固め管理・スパーサー配置確認
- ③ デジタル点検簿
- ④ 生成AIを活用したコンクリート品質管理の自動化

【特別展示コーナー】

受注者である入交建設(株)の協力により、以下の技術についても展示・紹介します。

- ① ハンディ型レーザースキャナを使用したICT土工の3次元起工測量
- ② 生成AIを活用した施工管理に関する技術
- ③ 建設用3Dプリンタの施工事例紹介 など

※展示内容の詳細は裏面をご覧ください。

【開催概要】

日 時：令和8年11月5日（木）9：30～11：30 ※小雨決行、荒天延期

場 所：高知県安芸市穴内乙（位置図参照）

南国安芸道路 穴内第1・第2跨道橋下部工事 建設現場

対象者：高知県内の建設会社、高規格道路沿線の自治体等

※駐車場は準備しておりますが、できるだけ乗り合わせでのご来場にご協力をお願いいたします。

問い合わせ：土佐国道事務所 工務課（TEL：088-885-4824）

【位置図】



【参加申し込み】

スマホで、下記の二次元コードを読み込み、
入力フォームに所属、氏名を記入してください。



<https://forms.cloud.microsoft/r/iR3axL3HfY>

申込み期限：令和8年10月27日（火）12時

インフラDX省人化モデル工事とは？

地域の建設業が使用可能な最新技術を活用する工事

《背景》

○建設業の担い手の中長期的な育成・確保のためには、新しい技術の導入による建設産業の生産性向上が必要



○生産性向上、省人化を目的に新たなデジタル技術を活用し、働き方改革に取り組むことを促す。

○地域の建設企業等が新しい技術にチャレンジするきっかけを作るために、四国地方整備局（土佐国道事務所）が発注する工事で試行する。

○他の工事、地元建設企業への普及・展開を図り「働き方改革」・「生産性向上」・「省人化」へつながる取り組みとなるよう進める。



現場で実演する最新技術(インフラDX省人化モデル工事活用技術の概要)



TECHNOLOGY 01

3次元施工ステップムービー

使用技術：TREND-POINT/TREND-CORE

起工測量で得た現地地点群データと3次元設計データを用いて、着工から完成までの施工手順を動画化する。施工の流れを視覚的に共有できるため、経験の浅い職員・作業員でも工事全体を理解しやすくなり、安全管理活動や地元説明の効率化につながる。

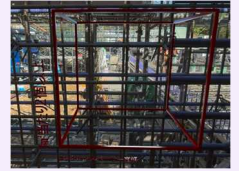
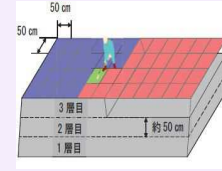


TECHNOLOGY 02

ARを活用したコンクリート締固め管理・スパーサー配置確認

使用機器：Apple Vision Pro

AR技術によりコンクリート締固め作業・鉄筋スパーサー配置確認に活用し、パイプレーターの挿入位置間隔及び1層打上がり高さを管理する。締固め状況の見え化により均質な仕上がりを実現し、打設時2名→1名、配置確認3名→1名省人化できる。

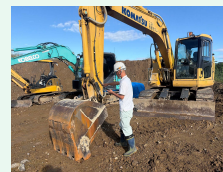
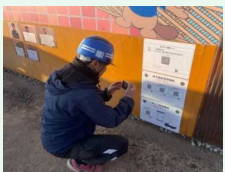


TECHNOLOGY 03

デジタル点検簿

使用ツール：クラウド点検アプリ

モバイルデバイスやクラウドサービスを活用し、リアルタイムでの点検記録・データ共有を実現する。QRコードを機械・設備に掲示し、スマートフォン等から点検を実施。紙の印刷・収集・ファイリングが不要となり、点検未実施時には自動アラートメールを送信する。



TECHNOLOGY 04

生成AIを活用したコンクリート品質管理の自動化

使用ツール：生成AI品質管理アプリ（現場主導型）

配合確認・受入検査・打設・養生管理等の業務を効率化するため、生成AIを活用した現場主導型の品質管理アプリを開発・導入。数値や音声の入力から適合判定と報告書を自動生成し、品質記録の標準化と書類作成時間の削減を図る。



特別展示コーナー(インフラDX見学会 各ブース概要)

出展企業 全6社



株式会社ワキタ/CSS技術開発

01 ハンディ型レーザースキャナ

ハンディ型レーザースキャナを用いて現地形状を効率的に計測。ICT活用工事における起工測量の省力化や作業時間短縮に活用できる。



SORABITO株式会社

02 音声AIエージェント「TakumiX」

音声による質問に対し、施工要領書や登録された知見をもとにAIが回答。施工管理業務の支援や情報共有の効率化に活用できる。



株式会社Polyuse (ポリウス)

03 建設用3Dプリンタの施工事例紹介

建設用3Dプリンタによるコンクリート構造物の施工事例を紹介。型枠製作の省力化や施工期間の短縮につながる次世代施工技術である。



NETIS番号:KT-230174-VE



西尾レントオール株式会社

04 チルトローテータ/トモロボ

バケットを傾斜・360°回転できるチルトローテータにより掘削・整形作業を効率化。トモロボは鉄筋交差部の結束を自動化し、配筋作業の省力化に貢献する。



NETIS番号:TH-240032-A

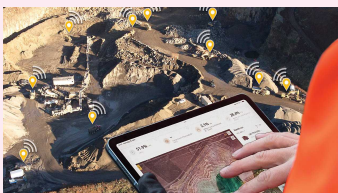


NETIS番号:SK-200003-A

四国建版株式会社

05 VisionLink Productivity

建機の稼働データをクラウドで一元管理し、生産量や稼働状況を可視化。データ分析により現場の生産性向上を支援する。



CRAFTCOM株式会社

06 コンクリート品質管理アプリ

配合計画から受入検査・打設・養生までの品質管理をアプリで一元化。判定結果や帳票を自動作成し、品質管理業務の効率化を図る。

